

令和3年 12月

愛西市立小中学校適正規模適正配置等
検証委員会

令和3年12月 第1回

愛西市立小中学校適正規模適正配置等検証委員会

会議録

開会日時 令和3年12月27日(月) 午前 9時30分
閉会日時 令和3年12月27日(月) 午前11時35分
場 所 愛西市役所 北館2階 会議室2-1、2-2

■出席委員

委員長	岩崎恭典
副委員長	水谷瀧男
委員	青山道男
委員	三輪田日出夫
委員	横井一之
委員	伊藤 悟
委員	諏訪淑子
委員	吉次章浩
委員	前田健治

■事務局

教育長	平尾 理
教育部長	三輪進一郎
企画政策部参事	伊藤孝一
学校教育課長	猪飼政和
学校教育課主幹	稲垣潤一
学校教育課課長補佐	坪井靖史
学校教育課主任	大鹿剛史
学校教育課主事	伊藤尚記

■傍聴者

2名

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員長、副委員長の選出
- 4 議事
 - (1) 検証委員会設立の趣旨
 - (2) 現状説明について
 - (3) 市内全域から見た状況と諸問題
 - (4) 基本方針・基本計画における検証について
 - (5) 検証の進め方について
 - (6) 次回の主な議事予定
 - (7) その他
 - (8) 今後の開催予定
- 5 閉会

<p>(事務局)</p>	<p>1. 開会 開会宣言</p>
<p>(教育長)</p>	<p>2. あいさつ</p> <p>本日は年末のお忙しい中、また大雪警報が発令されている中、早朝よりお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>皆様方には、平素より愛西市教育委員会及び市当局の事業にご理解ご支援を賜ってくださいますことを重ねてお礼申し上げます。</p> <p>愛西市において平成から令和にかけて少子化が進んでおります。しかし令和に入り、令和元年度令和2年度の新生児の数が25%減となっており、我々の推計をはるかに超える結果となっております。子どもたちの生活環境に影響が出ることを懸念しております。</p> <p>学校の適正配置につきましては、平成26年度から多くの地元の有識者の叡智を結集して基本方針、基本計画の提言をしていただいておりますが、わずか5年6年の間に学校を取り巻く環境が急変しております。学校によっては、施設設備の老朽化が極めて激しく、児童生徒の安全上あるいは学習環境の改善を早急に着手していく必要がございます。</p> <p>教育委員会といたしましては、この度基本方針、基本計画につきまして委員の皆様方に改めて検証をお願いするものであります。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、児童生徒が心身共に健やかに育つ環境を整えるため、さらには愛西市のこれから生まれてくる子どもたちのためにも多方面からの知見やご意見をいただきますようお願い申し上げます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>3. 委員長、副委員長の選出</p> <p>委員長、副委員長を選出する前に本日最初の委員会となりますので自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(席順に自己紹介)</p> <p>それでは、委員長、副委員長の選出に移ります。</p>
<p>(委員)</p>	<p>委員長に、岩崎恭典様をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>《全委員異議なし》</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ありがとうございます。では、委員長には、四日市大学の岩崎恭典様をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>

<p>(委員)</p>	<p>次に、副委員長につきましてどなたか推薦をお願いいたします。</p> <p>水谷瀧男様をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>《全委員異議なし》</p>
<p>(事務局)</p>	<p>ありがとうございます。では、副委員長につきましては、水谷瀧男様をお願いいたします。</p> <p>それでは、委員長が決定いたしましたので、ご挨拶をいただいた後、議事の進行につきましてもお願いしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>(あいさつ)</p>
<p>(委員長)</p>	<p>4. 議事</p>
<p>(委員長)</p>	<p>(1) 検証委員会設立の趣旨についてご説明をお願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>では、検証委員会設立の趣旨について説明させていただきます。</p> <p>教育委員会では、学校規模等に関し基本方針、基本計画に沿って、適正化を進めております。</p> <p>資料 1 をご覧ください。こちらにつきましては、本委員会の要綱の抜粋を記載させていただいておりますので後ほどご確認ください。</p> <p>先程委員長、教育長よりお話していただいておりますが、基本方針策定時に比べ、児童生徒数の状況に変化が確認されております。児童生徒数については、新たな将来の推計値を用いる等の適正化の進め方について検証が必要な時期にきていると捉えております。そういった事から早急に基本方針、基本計画について検証作業を進めていく必要があります。当委員会においては、市全体の状況について、検証作業を進めていただき、方針及び計画の内容についてご意見をいただきたいと存じます。方針及び計画に修正等が必要であると判断された場合には、その内容について方向性等をお示しいただく、また必要であれば検討協議会等の組織の設置についてもご意見をいただきたいと考えております。最初の方針のごあいさつにもありましたが、以前策定していただいた方針及び計画等の内容について慎重にご確認いただきご意見等をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。以上が検証委員会設立</p>

<p>(委員長)</p>	<p>の趣旨となります。</p> <p>設立の趣旨について説明していただきましたが何かご意見等はありませんでしょうか。</p> <p>《意見なし》</p> <p>では、(2) 現状説明について (3) 市内全域から見た状況と諸問題についてご説明していただけますでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>(2) 現状説明について (3) 市内全域から見た状況と諸問題について</p> <p>資料 2 に沿って説明</p>
<p>(委員長)</p>	<p>ありがとうございました。6年前の基本方針のデータと現時点での推計をお示しいただきました。学校施設については 50 年経っているところもお示しいただきましたがご質問等はありませんでしょうか。</p> <p>アンケート結果について地域説明会等で集計していますが、説明会にきていただいている方の内訳はわかりますか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>平成 28 年度地域懇談会に参加していただいた方の内訳は 20 代 2.5%、30 代 12.7%、40 代 29.1%、50 代 8.9%、60 代 29.1%、70 代 16.5%になります。</p> <p>令和元年度に行った地域説明会での数値は、次回お示しいたします。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>では、次回教えてください。</p> <p>他にご質問はありますか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>人口についてですが、平成 26 年から始められて、過去の資料、今日の資料を拝見させていただいて、数年間先までを想像して今生まれた赤ちゃんが数年先に小学校に入ってくるのが何人になるかを根拠に将来を決めようと考えておられると思います。</p> <p>一方で、老朽化の調査をしてみえると思いますが、公共施設においては長寿命化がさげばれていますから、最低でも 50 年、これから新築、改築していくなら 80 年以上は見越して考えないといけないと思います。ですから 80 年先を見越した公共施設を考えている際にあまりにも将来を見</p>

<p>(事務局)</p>	<p>資料 3 についてご説明いただけますでしょうか。</p> <p>資料 3、資料 4 について説明</p>
<p>(委員長)</p>	<p>ありがとうございました。今、資料 3 の小中学校適正規模等基本方針と資料 4 の適正規模等基本計画の提案をご説明いただきましたが、今日は、これを見直すべきか見直さないかを決めておきたいと思います。見直すべきとして判断してよろしいでしょうか。</p> <p>《全委員異議なし》</p> <p>ありがとうございます。では、どう見直ししていくかということになります。資料として見え消しをしていただきましたが、現状の数字に置き換えてもらっただけでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>はい。機械的に置き換えただけのものになりますので、基本方針等の内容については変えておりません。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>ですので、齟齬^{そご}をきたしている部分もあると思います。では、どう見直ししていくかの視点について明らかにしていくというのがこの会議の役割になると思います。その視点をベースに次の別の会議で具体的に適正規模等の基本方針の改訂版を作成するというのでしょうか。この基本方針を見直すところまでがこの会議の役割というわけではないでしょうか。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>基本方針につきましては、検討協議会から愛西市教育委員会に提言をいただいて、まとめさせていただいた経緯があります。今回お願いするのが、方針の根幹にかかわる部分、それとこれを受けての基本計画の最終案である 3 つの案についてまでを見直し、方向付けまでをお願いしたいと思っております。さらには、この後の検討協議会についてどこを協議するべきかをまとめていただきたいと思いますと思っております。</p>
<p>(委員)</p>	<p>検証する際の確認になるのですが、基本方針を平成 26 年からきちんと手続きをして進めておられているのがわかりました。ただ、その間も文部科学省の学級の定数等の各種基準も変わっておりますので、現在の基準に照らし合わせて基本計画も含めて見直しをする必要があると思いま</p>

	<p>す。</p> <p>もう一つが基本方針については検討委員会を設けて、市に提案をいただき、市が基本方針を作成したことはわかったのですが、基本計画について、現在どこまでの手続きが行われているのかははっきりしない部分があると思います。今までお聞きしていると基本計画は提案までで、まだ策定されていないように思えますが、いかがでしょうか。</p>
(事務局)	<p>現時点では、基本計画の提案を受けて、教育委員会の方で統合案 1 を採用し、地域との合意形成を行っている最中ですので、基本計画はまだ策定されていない状態でございます。</p>
(委員)	<p>まだ、手続きが完了していないことがわかりました。この検証委員会としては、基本方針の見直しや基本計画策定までの道筋についてもお示しできたらなと思っております。</p>
(委員長)	<p>ありがとうございます。この検証委員会では、基本計画策定までの手順についても検討していこうとのことでしたが皆さんどうでしょうか。</p> <p>《異議なし》</p> <p>それでは、それも検討範囲に含めて検討していこうと思います。統合案 1 を検討協議会からの提案を受けて、市としては進めていこうとしてきたけれど前提となる諸条件がかなり変わってきているということで統合案 1、2 にこだわらず、色々な検討をしていってくださいということをこの会議として打ち出すということによろしいでしょうか。</p>
(事務局)	<p>はい。お願いいたします。</p>
(委員長)	<p>その前提になるものとして、人口の動向ということで令和 9 年度から先を見越したデータが必要になってくると思いますし、教育環境で大きく変わったこととして GIGA スクールがあると思います。これからクラスの人数に影響が出てくるのではないのでしょうか。</p>
(委員)	<p>クラス数に関しては、まったく別の方で国や県から示されていますので、現在進めている最中です。</p>
(委員)	<p>主に児童生徒数で多く資料を揃えていただいています。教職員の数、</p>

	<p>教職員の配置基準も大事になると思います。特に中学校に関しては、専門教科について確保できないと思います。現在、児童生徒数だけで資料を作っていただいています、今後の見通しで教職員の配置がどのようになっているか、この学校は何人になるのかも資料として見せていただきたいです。現在で推計できる教職員の数を示していただけると説得力があると思います。</p> <p>もう一点が、せっかく 3 案までいただいていますのでその案を採用したときの児童生徒教職員の数を資料としていただくと、判断がしやすいと思います。できれば、作っていただけるとありがたいなと思います。</p> <p>もう一つが、メリット・デメリットを見せていただいています、小中学校を分けて考える必要があると思います。やはり、小学校におけるメリットが中学校におけるデメリットになることもあると思います。ですので、小学校と中学校を分けて見る視点も取り入れていくといいと思います。</p> <p>(委員長)</p> <p>ありがとうございます。基本計画の 3 ページのところ適正規模を考える視点で中学校であると教科担任制の充実等が書かれておりますけれども具体的な数値で示す必要があるのではないかと思います。4 ページに書かれている状態でこのまま行くと教科担任制が達成できないのではないかと思いますし、その観点から見直す必要があると思います。</p> <p>それから、よく言われるのが小規模な小学校が中学校に上がった段階での中 1 ショックの問題とか高校に入った途端に大規模になってしまつてとまどうとかそういう中 1 ショックとか高 1 ショックとかいう表現がないと思います。小規模校のメリットが大規模校へのデメリットになるという部分についても触れておく必要があるのではないかと思います。</p> <p>今回は、こういう視点に関してあげていただき、事務局にデータを用意していただくことになるとは思います、他にありますでしょうか。</p> <p>(委員)</p> <p>適正化規模等基本方針の 16 ページの推計についてですが令和 9 年現在と書かれていますが令和 3 年の間違いではないでしょうか。18 ページも同様だと思います。24 ページの立田南部小学校福原分校のところです。バツではなく、消去していただきたいです。</p> <p>(事務局)</p> <p>ご指摘ありがとうございます。修正させていただきます。</p> <p>(委員)</p> <p>検証の範囲についてですが、ぜひ基本方針から見直す場合は、今回の</p>
--	---

	<p>委員会名が愛西市から始まっていますので、ぜひとも全市の少子化から入っていただきたいと思います。愛西市全域の小中学校を視野に入れて、偏った縮小ではなく、均衡ある縮小を目指して、そういった視点で検証していただきたいと思います。ですので、人数についても数年先の出生から見た数字も大事ですけれども範囲を広げてほしいと思いますし、施設を配置していく場合、通学範囲も距離等重要な要素となりますので合わせて考えていくべきだと思います。</p> <p>また、学校は社会教育施設だと思っています。防災拠点や地域の行事等で学校を利用していますので並行して考えていただきたいと思います。オール市役所として考えましたとして基本計画を打ち出していけば、合意形成がやりやすいと思います。</p>
(委員長)	<p>ありがとうございます。合意形成をこうするとしやすいくということをご提案する役割も検討の範囲にあると思いますので考えていきたいと思っております。</p>
(委員)	<p>地図と統合案をみたときかなり離れている4校を一緒にしていると感じました。もっと近い学校にいったらどうなのかと思いました。アンケートを取られたときとそのときの保護者の方の考え方は違うと感じました。</p> <p>統合案1、2、3で進めた場合、予算がどれくらい違うものなのか全然わかりませんでした。</p> <p>教科担任制も中学校だけでなく、小学校の方にも入ってくると聞いています。人件費もかかってくると思います。</p>
(委員長)	<p>ありがとうございます。小学校の専門教科の話は、文部科学省がようやく要請しようかという段階なのでまだ何年先になるかわからない部分ではあると思います。ただ、必要なことは確かだと思います。そうなってくると、コミュニティの話になってくると思います。先生方に教材研究に集中してもらうには、学年日より等の印刷、配布であったり、地域の方がやったりとか、地域の探求学習を地域にちゃんと受けもらえるようにする新しい学校の仕組みを作ることをごきちんイメージとして作っておく必要があると思います。愛西市で子どもを育てるときに小学校中学校は、こういう教育ができる、こういう子どもに育てる。そして、愛西に留まってもらえる。そういった、小中学校にしていくという大目標があって、少子化にもかかわらずやっていくことを基本方針で示していきたいなと思います。お金のことはあるけれども理想として作ってお</p>

<p>(委員)</p>	<p>きたいと思います。</p> <p>市町村合併をしたということは、通学区域、旧町村の境界はなくなつたはずであるけれども、なかなかなくなっていないのが現状だと思います。合併したときのメリットだったはずですのでこのことも書いておく必要があるのではないかと考えています。</p> <p>他に何か視点としてありますでしょうか。</p> <p>視点として中学校における小規模校の部活動数がデメリットとてあがっていると思います。今、文部科学省の方では、休日の部活指導は地域のスポーツクラブの方に段階的に移行していく方向になっております。愛西市としてスポーツ振興の観点から小中学校に関わるスポーツクラブ等の見通しがどうなっていくのかという情報があるといいと思います。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>ありがとうございます。確かに総合型のスポーツクラブで引き受けてもらえないだろうかという話もあります。そうなってくると、地域との関わりを深めていく必要があると思います。ただそうなる今までの方がいいじゃないかという話も出てくるのですが、それでは当事者である子どもたちへの教育環境が十分に整備されるのかという面もあります。地域の人数が減り高齢化し、子どもの数も減ってきている中、地域でどうしても子どもたちを育てていきたいという二律背反の話をどこまで学校という場で実現していけるのかということが重要だと思っています。人口増加時代を経験してきた我々が次の世代の子どもたちに学校という現場で何ができるのかということをもっと打ち出せるような基本計画を作っていきたいと思っています。学校支援の仕組みを作る場を確保するようにうたっておくべきだと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>小中一貫校についてですが、単体で施設を複数作るよりも施設を一つにするのが安価であるという安易な理由で考えているのならばやめたほうが良いと思います。小中一貫校を公立学校でやるのであれば愛西市の教育方針として全市的に佐屋も佐織もやっていく計画を立てて、文部科学省からモデル地域までなるという構想までやるのであればいいと思います。若いお父さん、お母さんが愛西市へ行けば最先端の教育を受けられるという魅力アップにつながればいいんですが、そうでないのであればきちんとしたそういった背景のもと、打ち出すべきだと思います。</p> <p>大都市の方では小中一貫校ではなく、中高一貫校への流れが出てきています。</p>

<p>(委員長)</p>	<p>ありがとうございます。小中一貫校についても最近の動向を注視しながら見直しの対象にしていくべきなのかなと考えています。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>小中一貫校について基本計画にでている提案では、財政的な面もあるとは思いますが、教員の専科の面もあると思います。小学校の先生と中学校の先生が行き来できる点があります。学校が離れていると兼務発令等や通うのに時間がかかる等の問題がでます。統合することにより小学校の先生が中学校へ中学校の先生が小学校へ行きやすいということが視野にあったと思っています。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>ありがとうございます。小中一貫校のメリット・デメリットも載せる必要があるのかなと思っております。</p> <p>他にご意見はありますか。</p> <p>《意見なし》</p> <p>では、(8) 今後の開催予定についてご説明をお願いします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今後の開催予定ですが、第2回令和4年1月12日(水)午後1時30分からとなります。第3回令和4年2月4日(金)午後1時30分から、第4回令和4年2月24日(木)午後1時30分から、第5回令和4年3月11日(金)午後1時30分からとなります。</p>
<p>(委員長)</p>	<p>今日かなりの論点と資料要求しましたが、それが1月12日に出てくることはないと思います。見直しの視点と検討の範囲についてはある程度確定させていただきました。その範囲の中で基本計画の手続きについて、また合意形成の手法についてもこの検証委員会の中で案として作っておく必要があると思います。一方で老朽化の施設についてもこの委員会と並行して議論がされていますのでそれも十分踏まえた上でやらなければいけないと思います。</p> <p>ということで、今日は議論の範囲と見直しの視点について皆さんからご意見をいただきましたので、それを含めて事務局の方で作業をしていただいた上で1月12日にまた開催したいと思います。</p> <p>以上で第1回愛西市立小中学校適正規模適正配置等検証委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>

5. 閉会